



能登半島地震支援報告



2024年1月1日能登半島地震から約半年が経とうとしています。

地震直後は、テレビや新聞で現地の状況がたくさん報道されていましたが、今はそれも少なくなり、遠く離れて生活をしている方にとっては過去のものになりつつあるのかもしれませんが。そのため、簡潔ながら現地の様子を私たちの活動と合わせて伝えられたらと思います。

能登半島の状況と物資配達

輪島市、輪島市門前町、能登町などを中心に活動しています。道路状況も日々変化しており、輪島市まで2時間半で行けるようになりました。私たちが物資を運ぶ時にも、道路工事がいたるところで行われ、日々インフラが復旧していると感じます。

避難所や高齢者施設へ物資配達は続けており、ある地区ではもともとお店が少なく、道路が整備されつつある今でもなかなか生鮮食品が手に入らないため、果物や野菜を届けています。

現地では仮設住宅が建てられ、避難所から仮設住宅に移り住む人も増えています。

ただ、避難所の閉鎖も進められている中で、様々な事情で仮設住宅に入れず、自主避難している人が安全に住める場所が現状ないため、そこが次の課題の一つとなっています。

また、現地では崩れた家があるまま多く残されており、半年たとうとしている今でも地震の爪痕は残されていました。町全体の復興はまだまだ時間がかかるとは思いますが、道路の整備が進み、物が届くようになるなど、少しずつ前に進んでいる印象があります。



「町」の復興と「人」の復興

輪島セントラルキッチン（地元の飲食店のオーナーが集まり、炊き出し等を行っていた）の方々が、「街に灯りをともし、皆さんが笑顔になれる場所を作りたい」という思いの元、居酒屋を開くためクラウドファンディングを始めたそうです。自分たちのお店も地震の被害を受ける中、街の人を応援し笑顔にする、まさに「人の復興」であり、その底力を見た気がしました。町の復興も少しずつ進んでいますが、人の心を元気にする「人の復興」のお手伝いもできたらと思います。